



学校教育目標

やさしく・かしこく・たくましく

～豊かな心で、共に生きる力をもつ中部の子～



【学校目標の具現・3つの柱】

- ・自分も周りの人のことも大切にできる子
- ・自ら学ぶ楽しさを味わい友と学びあう子
- ・心身共に健康に自ら生活を創っていく子

【軽井沢町の願い】

- 「心豊かでたくましい軽井沢の子どもの育成」
- 「こぶし教育」(心・文化・自然)

やさしく

自分も周りの人も
大切にできる子

- 1 共に学び合う仲間づくり
○子どもと子ども 子どもと職員
のあたたかな関係づくり
○実際のできごとを通して
語り合い創っていく過程の重視
- 2 子どもへのあたたかな評価と
保護者との信頼づくり
○学習の過程、その子の成長を
認め、丁寧に振り返っていく
(道徳、全教科にわたって)
- 地域・保護者と信頼関係を結び、
その子らしさを見つめ育む

かしこく

自ら学ぶ楽しさを味わい
友と学びあう子

- 1 子どもに委ねる
○学習の主導権をもっと子どもに
○「好き」「楽しい」を探究する学習
- 2 授業改善
○個に応じた多様な学び方の研究
○探究的協働的な学習の実践
○町合同研修・連携をもとにした
授業改善の研修
- 自ら取り組む「自学ノート」「寺子
屋プリント」「マスターノート」の実施
- 3 専門性を生かした授業実践
○「教科担任制」による専門的技量を
生かした授業実践・児童理解

たくましく

心身共に健康に
自ら生活を創っていく子

- 1 自立心を育む活動
○清掃などの日常生活や、行事を
通しての子どもの成長を見つめ、
共に歩む
- 2 心身共に健康な子どもの育成
○遊び・体力作りを通して健康作り
○個性・命と健康を大切にする教育
- 3 学校生活を自ら創る意識づくり
○児童主体の学校行事
○児童による生活の問題解決
○家庭との連携(食事、運動、メ
ディアコントロール)

学年の「チーム担任」 全職員の「チーム担任」で支え

重点 「知る」「高める」「伝える」活動を通した 児童のウェルビーイングの実現

「知る」部会

- ・特別支援の視点でその子を知る
- ・その子がいきるインクルーシブ推進
- ・〇〇さんのウェルビーイングとは
- ・居心地のよいわたしの学級

「高める」部会

- ・学び合い学習による高まり
- ・個別最適な学びによる主体性UP
- ・ICTの効果的活用による個々の
表現を大切にする

「伝える」部会

- ・自由なアウトプットの間
- ・IU CHUBU HARU CHUBU
- ・児童の有志を支える など
環境づくりによる支援を探
る

特色ある教育

☆児童主体の学校づくり

- ・児童が進める各種行事
- ・低学年児童も参加する児童会
- ・児童有志による企画・運営
- ・児童による70周年記念行事

☆地域とつながる支援(CS)

- ・熊講習
- ・軽井沢彫り
- ・読み聞かせ
- ・スケート学習
- ・クラブ活動支援
- ・カーリング学習
- ・軽井沢での野菜収穫 等

☆軽井沢学

- ・軽井沢の歴史・自然・文化に学ぶ
軽井沢ゼミ
- ・地域の特性を生かしたイマージョン
教育、英語、国際理解教育

